

個別DBマニュアル FE003.Application DB



FE003.Guest DB

Contents

- 1 機能概要
- 2 機能フロー図
- 3 レコード管理
- 4 グラフ管理(見える化)

1 機能概要

1 機能概要

1.概要

イベント・セミナーに参加する参加者の情報を1レコードずつ保存するDB

なお、登録レコードは日次で削除・新規登録をするため、当該DBでの更新は原則行なわないこと

2.機能

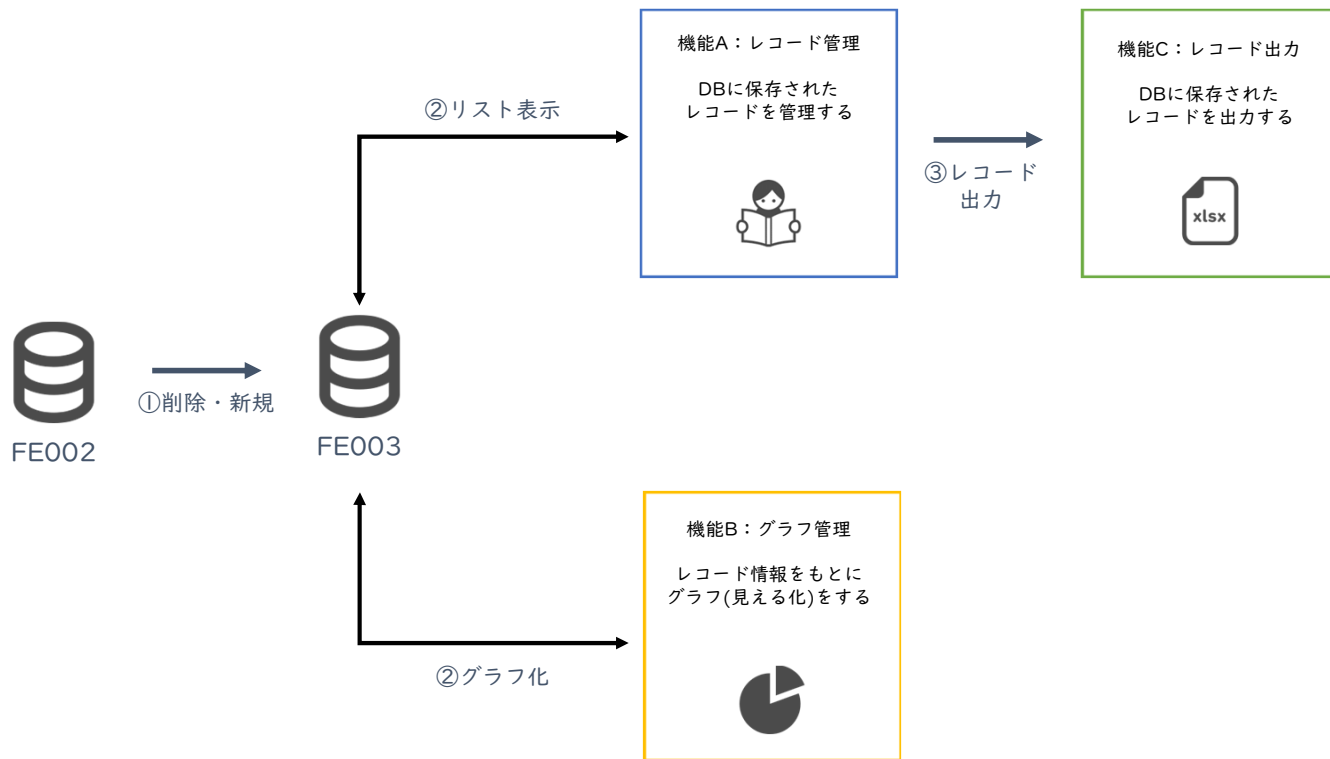
機能	概要
機能A：レコード管理	DBに保存されるレコードをリスト化し表示する機能
機能B：グラフ管理(見える化)	DBに保存されるレコードのステータスを管理する機能
機能C：レコード出力	

3.キーフィールド

キーフィールド	概要
レコードID	申込窓口と参加者の紐づけを示すID (FE002との紐づけ)
受講者ID	参加者ごとに発行するID

2 機能フロー図

2 機能フロー図



3 レコード管理

3 レコード管理

機能A：レコード管理

DBに保存された
レコードを管理する

- ・大量のレコードを整理し、見やすく
- ・問い合わせ対応をスピーディに



FE003

- 【A1】 全レコード : ステータスOKの全レコード
- 【A2】 イベント : ステータス 01.OK の開催前のイベント
- 【A3】 セミナー : ステータス 01.OK の開催前のセミナー
- 【A4】 研究会 : ステータス 01.OK の開催前の研究会
- 【A5】 海外 : ステータス 01.OK の開催前の海外系申込み

4 グラフ管理(見える化)

4 グラフ管理(見える化)

機能B：グラフ管理

レコード情報をもとに
グラフ(見える化)をする



・参加者人数、申込タイミング、
申込種別など、参加者レコードを
集計することで見えてくるデータを
グラフ化し、情報分析を高度化する



FE003

【A】何を？：ALL、イベント、セミナー、工場見学、海外

【B】誰が？：会社、会員・一般、招待

【C】いつ？：日別、月間、年間